

整形外科で診療を受けられた患者さんへ

上腕骨遠位部骨折患者の治療状況とその予後に関する後方視的多施設共同研究 について

研究機関 新潟大学医歯学総合病院 ならびに 県内の病院 整形外科
研究責任者 上村一成 (魚沼基幹病院 整形外科)
研究分担者 済生会新潟病院 整形外科 塩崎浩之(副院長) 山際浩史 北原洋 (いずれも部長)

このたび済生会新潟病院 整形外科では、以前に上腕骨遠位部の骨折(肘のちかくの骨折)で通院されていた患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。患者さんの情報について、本研究への利用を望まれない場合には、当院までご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、上腕骨遠位部の骨折をされた患者さんの治療内容とその予後に関する大規模データベースを作り上げることです。本骨折は日常生活の質を著しく下げることがあり、患者さんの寿命が短くなってしまう可能性が指摘されています。新潟県内の各病院の整形外科で協力し情報を共有して調査することで、その原因と対策を検討することは作り上げること、大変有用です。当院もこの調査研究に参加・協力し、より良い治療を探って参ります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2004年～2018年の間に済生会新潟病院 整形外科において、上腕骨遠位部骨折にて受診された方を対象とします。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 5年間

3) 研究方法

新潟大学医歯学総合病院 ならびに 県内の病院 整形外科で同様の調査を行い、骨折後の予後調査を行って、厳重に匿名化されたデータベースを作成して、生命予後に影響を与えた因子を検討します。

4) 研究に使用する情報

郵送または電話にて生命予後を確認させていただきます。また、診療録より、年齢、性別、治療法、入院の有無、入院では期間と退院先、死亡率(7日以内、30日以内、1年以内、3年以内)、開放骨折か否か、BMI、併存症の情報を抽出します。情報を提供して下さった患者さん個人が特定できないよう、これらの情報は完全に匿名

済生会新潟病院 整形外科
2022年7月22日作成

化されます。

5) 試料・情報の保存

登録されたデータは研究代表者のもとで、匿名化され、厳重に管理され保存されます。保存期間は本研究終了（あるいは中止）後 10 年間とします。

6) 研究成果の取扱い

学術論文として成果が公開される予定です。

7) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

済生会新潟病院 整形外科

研究担当医師 塩崎浩之 山際浩史 北原洋

連絡先（電話番号） 025-233-6161（平日：9時～16時）